

関西遠征 報告

期 日 : 3月31日(金)～4月2日(日)
対 象 校 : 京都市立京都工学院高校・東海大学附属大阪仰星高校
メンバー : かがしま国体35名(50名スコッドから選抜)

かがしま国体強化として、全国で最もレベルの高い関西地区で試合を組むことができた。関西には多くのチームがあるが、その中でも育成段階からしっかりと作り上げて全国トップクラスまでチーム力を上げてくる2チームに依頼し、ラグビーに対する取り組みや練習環境、試合運びを学ぶことを目的とした。また、この時期に実際に体を当てて学べるものは大きく、自分たちの成長への目標設定になると考えました。

3月31日(金) 京都工学院合同練習

3時間ほど、ユニット(FW・BK)練習を中心に行われた。個々人の力をチーム力として結集うまさや練習時からゲームのようなワンプレーに対する集中力の高さ。そのワンプレーを何度繰り返しても集中力を長く保つことができるスイッチの入れ直し方など、学ぶべきことが多かった。



4月1日(土) 京都工学院強化ゲーム(25分3本)

最初の立ち上がりで、レフリングに対応できずペナルティーを重ねた。また、ゲーム感覚が整わず簡単に2トライ奪われた。しかし、時間がたつにつれ少しずつ対応力がついてきた。セットプレーでは劣勢な部分もあったが、アンストラクチャー部分やBKの展開力では鹿児島にも力強さを感じた。

ミーティングで、京都工学院との試合をもとに自分たちの強み(更に高めるべき)の部分、弱み(改善すべき)の部分を選手達で話し合い、自分たちのチームの現状が理解することができた。



4月2日(日) 東海大仰星強化ゲーム(25分3本)

ゲーム開始直後から、フィジカル的な違いを大きく感じた。もちろん仰星のスピードの出し方も、少ない助走で一気に関合いが詰められる間隔は刺激的であった。それでも途中から、体が慣れてくる感覚があり、このような中でプレーを繰り返すことの大切さを感じる事ができた。



今回、関西遠征を実現するために多くの方々にお世話になりました。また、快く「かがしま国体」強化に賛同いただき受け入れてくださった両校の関係者に感謝申し上げます。

この感謝の気持ちを自分たちが強くなることでお返しできるように頑張っていきたいと思っております。

写真:保護者提供